

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨  
－活力部会－

開催日：平成23年7月1日（金） 14：00～16：00

場 所：大分センチュリーホテル2F 桜

出席委員： 矢野委員 石井委員 伊藤委員 甲斐委員  
壁村委員 北崎委員 佐藤委員 藤澤委員  
米澤委員 渡邊委員 和田委員

- 農作物を大消費地に売ってグレードを上げるのもいいが、自分の生産量に見合った、消費地を見つけることも重要である。
- 福岡県大木町のし尿を活用した発電などを参考に、大分県も、自然エネルギー先進県として、様々な取り組みを積極的に進め、もっとPRしていくべきである。
- 限界集落には十分な土地があることから、風力発電など、自然エネルギーを活用した発電を進めていけば効果的である。
- 1次産業においても、商工業同様、原価を指標とすることができないか。
- 他地域の成功例と比較する形の指標ができないか。
- 率(%)を採用している指標は、全体像が見えてこないなので、母数を示した方が良い。
- 給食特区などの規制緩和等で地産地消の学校給食を推進できないか
- 食育を「食」のみで捉えるのではなく、教育だけでなく観光、ビジネス全般、農林水産業などもっと大きな視点で考えることが大切。
- 空き店舗対策であるテナントミックスを空き家問題にも活用するなど、ノウハウの農商工連携も有効ではないか。
- 自然環境を活用したトレッキングやクルージングなど、少人数の観光であっても、気に入ってもらえるような地域づくりが重要である。